

研究倫理シリーズ 第3回

盗用と言われない

英語論文の執筆

—大学教員は何を指導すべきか—

日時：2015年 **6月 22日** (月) 15:00～18:00 (受付 14:30～)

会場：東北大学川内北キャンパス 講義棟 A 棟 A307

定員：60名

講師：**吉村 富美子** (東北学院大学文学部英文科 教授)

研究不正は、大学への信頼性を損なう大きな問題であり、中でも、「コピペ」「盗用（剽窃）」は、一昨年の科学研究費による全国大学調査でも、30%以上の大学が経験し、80%以上の大学が今後起きると回答するなど深刻な問題です。特に、英語論文を執筆する際には、「倫理観の欠如」だけでは説明できない問題がからんでいます。まず、先行研究の読み取りの難しさや外国語での表現力の不足から、原文の表現を適切に言い換えることができず、「パッチワーク文」や「表現の盗用」となってしまうことが挙げられます。また、英語圏と日本では、盗用の捉え方や指導の仕方も異なります。

本セミナーでは、英文での基本的な引用ルールと盗用の定義を解説し、論文指導や英語指導をどのように行えばいいかの検討を行います。盗用が起きるのは学生だけでなく、指導教員の責任でもあります。盗用を防ぐために、何に留意し、どのような指導を行う必要があるのかを参加者の皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

ワークショップ形式で、解説とワークを交えながら実施します。

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/> 東北大学高度教養教育・学生支援機構

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

主催

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター
言語・文化教育センター
TEL.022-795-4471 Fax.022-795-4749
Email. iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

